

沖縄カトリック中学高等学校  
学校通信

# 野ばら 2月号

発行  
沖縄カトリック中学高等学校  
〒901-2215  
宜野湾市真栄原3-16-1  
TEL098-897-3300  
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>  
2017年2月1日(水)



人はただ自分の愛する人からだけ学ぶものだ

校長 夏見隆晴

「人はただ自分の愛する人からだけ学ぶものだ」という題は、水木しげるさんが選んだ93の「賢者の言葉」『ゲゲゲのゲート』（双葉新書）から拝借しました。そこで、水木さんは「ゲートと聞くだけで、今でも背筋がしゃんと伸びるような気がします」と書いております。また「水木サンは80パーセントがゲートです」と、書物に付けられた帯にあります。第二次世界大戦に出征しなければならぬ時代を生きなければならぬ世に生を受けた水木さんは、ドイツの文豪ゲーテの思想を紐解き、そこから聖書にもいたり、イエス・キリストの「愛」を深く考えるにいたったと述べております。

もう少し水木さんの言葉を引用させてください。「私はゲートと同じように、新約聖書も暗記するぐらい読みました。新約聖書にあるイエス・キリストの生き方には感動しましたね。やはり、あの生き方、死にかたは感動的です。出征すれば間違いなく死ぬと覚悟していた私は、死の恐怖を超越するために哲学書や聖書なんかを読みましたが、復員後あらためて読んだのは、やはりゲート。新約聖書も何度か読み返すことがあったね。大いに感銘して尊敬できるものから学べばいいんです。」と考えを述べています。

わたし自身の場合も、キリスト教への入信のきっかけとなったのは、やがては出征しなければならないと考えていたのか、兄の勉強机の上に置かれていた新約聖書を見つけたことで、イエス・キリストに出会えたという幸運があったからだと考えています。勿論、当時のわたしの読書力では読むこともできないものだったのですが、表紙カバーの絵が、細部は記憶から消えておりますが、その色彩の感じが今も記憶にのこっております。そんなこともあって、高校生時代そして大学時代と聖書の通読に挑戦しながら、何度も挫折した記憶が残っています。でも挫折を続けながらも、有難いことに、聖書は今も「わたしの一冊の本」であり続けています。

今日まで長い間、私は若い人たちに教えることを仕事としてまいりましたが、教科書を通して伝えた知識は、今は古びてしまってほとんど価値のないものになってしまっているかもしれませんが、勤務した学校は全てキリスト教カトリックの学校であったので、イエス・キリストの教えをもとに人間観を紹介することもできたので、卒業後も懐かしく当時教室で伝えていた話を思い出し、話の材料にしてくれるのが嬉しい限りです。

ただ、私の主イエス・キリストに倣う人の愛し方とは、イエス・キリストが愛したような愛し方を出来る限り倣う必要があるのです、それほど簡単なことではありません。「己の如く人をも愛する」とは、実際に行動に移してみて初めてその難しさを実感させられる教えであるということに、私たちは気づきます。しかし、この一事を実行できれば、私たちは立派なキリストの弟子であると言えるでしょう。



## 大きな夢を Pile Up

英語科・中3担任 友寄 加奈恵

11期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんのご活躍をお祈りいたします。

卒業の月の原稿執筆にあたり、生徒の皆さんの大きな夢や希望がかないますように、そこへ向かって努力し続ける人でありますように、との願いを込めて標記の題にしました。

昨年のリオデジャネイロ・オリンピックは、私の家族にとって特別な大会でした。妹が、日本選手のマッサージャーとして大会に同行したからです。オリンピックで仕事をする事は、彼女の長年の夢でした。それこそ、生徒の皆さんと同じように中学生の時にテレビでオリンピックを観戦し、スポーツトレーナーという職業を知り、そこから夢が始まりました。中学生から高校2年生までは、彼女が「オリンピックに関わる仕事がしたい」と言っても、家族の誰も反対をしませんでした。しかし、いよいよ高校3年生となり大学を決める時になると状況は変わりました。姉である私も両親も「何を夢みたいなことを言っているの。」「何人がその職業に就けると思っているの。」と。手前味噌ながら、彼女の偉かったことは周囲を説得できるだけの計画を持っていたことです。大学選びも理由をつけて第1志望から第3志望まで、大学に入学した後もまずはインターカレッジに関わる事、就職は多くのトレーナーを輩出している所というように、情報を集め自分の夢が叶う道を具体的に追いかけてきました。努力を続けられる熱い情熱と計画性が大きな夢を可能にしました。本校でも進路指導として、職業や学びたい分野の情報を集め Pile Up (積み立てる) することを行っています。「夢みたいな事」をかなえるのは、本人の努力と想い、そして実現への計画と実行でしょう。生徒の皆さんには大きな夢を持ち、そこに向かって力強く進んでいってほしいと思います。



## の行事計画

日・曜日	行事計画
2月1日(水)	職員会議(4時20分 完全下校)
4日(土)	家庭学習日・後期入試
6日(月)	中学校: 学力推移調査、高1: 河合、高2: センター早期
8日(水)	委員会③ 小中交流会(小5・高1)
10日(金)	卒業感謝ミサ・卒業式予行
11日(土)	卒業式
12日(日)	東進模試(希望者)
13日(月)	2/11(建国記念日)の振替
18日(土)	授業 午後: 数学検定
19日(日)	英検2次試験
21日(火)	第5回定期試験(～24日)
27日(月)	答案返却

# 生徒の活躍

## ・第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

### 小物インテリア作品部門

最優秀賞	高1	外間	栄美さん
佳作賞	高1	大城	アリナ 姫花さん
佳作賞	高1	富川	真由さん
努力賞	高1	岡本	結さん
優秀賞	中2	辺土	百々花さん
優秀賞	中3	上地	花鈴さん
アイデア賞	中2	外間	玲美さん
佳作賞	中3	赤嶺	佳菜美さん
佳作賞	中3	山内	彩加さん

